

# 表彰状

特定非営利活動法人

山のECHO殿

貴団体は多年にわたり環境保全の  
推進に多大な貢献をされその功績  
は誠に顕著なものがあります  
よって環境月間にあたりこれを  
表彰します

平成二十年六月十一日

環境大臣

鳩山一郎



# 環境保全功労者功績内容等

氏名・年齢・住所・職業	功 績
<p>特定非営利活動法人 山のECHO とくていひえいりかつどうほうじん やまのえこー</p> <p>代表理事 上 幸雄</p>	<p>NPO法人山のECHOは、「地球の将来を考えてゆくうえで山岳地域の森、水、大気、エネルギーなどの自然の重要性を認識」すべきとの平成14年の「国際山岳年」の理念を受けて、実践的な自然保護活動の展開を目的として平成15年に設立された団体である。</p> <p>本団体は設立から5年であるにもかかわらず、専門的な知見と卓越した技術を有する研究者等とともに山岳地の環境保全に関する活動を活発に行っており、特に、インフラ等の整備が十分ではない条件不利地域における山岳トイレ等の環境浄化の推進に関する活動については、社会的に高い評価を得ている。</p> <p>具体的な活動内容は、山岳地で顕在化しているし尿処理や利用のマナー等の各種問題についての普及啓発と対策に関する提案、実践が中心であり、普及啓発については、設立当初から開催している「山の自然と文化を語る会」において、山岳関係者、自然公園行政の経験者などを招き、山岳地でのトイレ問題、マナーやルールに関するテーマを中心にこれまで10回開催している他、山岳地に関する数々のデータを取りまとめた「山のデータブック」を発刊するなど、多くの人々に積極的に山岳地で起こっている問題を訴え続けている。</p> <p>山岳環境等浄化に関する活動では、環境省が平成11年度から推進している山岳トイレの整備について、これを側面から支援するための各種イベントや活動により山岳トイレの普及に尽力し、特に、短期間で富士山等の山小屋のトイレ環境の改善に貢献した。</p> <p>また、平成15年度から開始された環境省の「環境技術実証モデル事業」に山岳トイレ技術分野の実証運営機関として参画し、山岳地等の条件不利地域における適切なトイレし尿処理技術の向上に努めている。近年では、山岳域に加えて山麓、海岸、離島における実証試験を試行的に実施しており、山岳地域だけでなく、インフラ関係の条件不利地におけるし尿処理技術の向上による自然環境の保全も期待されている。さらに、本事業の一環として平成20年2月に開催した「山岳トイレ技術シンポジウム」では、産官学から参加した様々な参加者を適切にコーディネートし、当該技術分野の普及と将来的な方向付けに積極的に貢献をしており、山岳地等の環境保全の推進における本団体の功績は極めて顕著なものとなっている。</p>